

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 郡上高等学校 学校運営協議会 (第1回)
- 2 開催日時 令和8年6月29日(月) 13:30～15:30
- 3 開催場所 郡上高等学校会議室
開催にあたり、委員による授業参観を実施した
- 4 参加者

会 長	日置 保次	郡上市立八幡中学校長
副会長	服部 敦子	郡上市教育委員会
委 員	田代 はつ江	地域住民
	松本 英明	本校PTA役員
	上田 晋市	一般財団法人郡上八幡産業振興公社
	辻 治美	郡上八幡国際友好協会
	武藤 里恵	郡上市雇用対策協議会
学 校 側	浅見 和人	校長
	高井 正明	事務部長
	八束 功子	教頭
	田中 聡和	教頭
	森下 大介	教務部長
	市原 賢優	進路支援部長
	山本 力也	生徒支援部長
	後藤 公輔	農場長
	松下 誠	普通科主任

5 会議の概要(協議事項)

(1) 教育指導の重点及び学校経営計画について

校長より本年度の学校経営方針及び学校経営計画について説明を行った。その後、各分掌長及び科長より、教育活動の重点事項や取組状況について説明を行った。

委員からの主な意見

- 意見1** 青切符制度が導入されたが、現状はどのようなものであるか。
⇒本校では現在のところ青切符の対象となる違反は確認されていない。自転車通学者が少ないこともあり、交通事故の件数も例年少ない状況である。
- 意見2** 教育活動に感謝している。同時に、教職員の働き方が心配であるため、健康に留意してほしい。

- 意見 3** 生徒が高校で元気に3年間を過ごし、笑顔で卒業できれば保護者として大変ありがたい。中学校卒業後に一定数の生徒が郡上市外へ進学することについては、生徒の主体的な進路選択の表れとも考えられる。今後は郡上市外からも生徒が集まるような学校の魅力づくりが期待される。多様性や専門性など、本校の強みを伸ばしていくことが大切ではないか。
- 意見 4** 教職員がそれぞれの立場で熱心に取り組んでいることが伝わってくる。学校として特色を明確にし、対外的にアピールできるものがあるとよい。その実現に向けて協力したい。
- 意見 5** 授業参観を通して、落ち着いたよい雰囲気の中で授業が行われていることが分かった。見学することができてよかった。
- 意見 6** 30数年ぶりに高校の教室に入り、懐かしさを感じた。自身も高校時代の3年間は充実していた。生徒たちが勉強に励み、よい仲間に出会いながら充実した高校生活を送れるよう、引き続き指導をお願いしたい。
- 意見 7** 生徒の通学の様子を見ると、ヘルメットの着用率が低いように感じる。生徒が安全に生活できるよう、今後も交通安全指導を継続してほしい。
- 意見 8** 生徒の進路決定はどのような時期に、どのような過程で行われるのか。
⇒進路選択の時期は生徒によって異なる。進路情報の収集、オープンキャンパスへの参加、進路ガイダンスへの参加、学年の節目での進路希望調査等を通して、自らの進路を決定している。
- 意見 9** いじめに対して、どのような対応をしているか。
⇒担任、教育相談担当、部活動顧問など、どの教職員でも相談に対応できる体制を整えている。また、年間7回の生徒アンケートを実施し、実態把握に努めている。いじめに関する情報があつた場合には、学校全体で組織的に対応している。
- 意見 10** 中学校でも進路意識を高めるため、校長講話など様々な取組を行っている。高校を選ぶ理由として「通学しやすいこと」は大きな要素であると考え。郡上高校と地域の中学校との連携や交流がさらに充実するとよい。

6 会議のまとめ

- ・第1回学校運営協議会において、全委員から本年度の学校経営計画に基づく学校運営方針について承認を得た。
- ・授業見学を通して生徒の学習の様子を参観し、本校の教育活動について様々な立場から貴重な意見や助言を得た。
- ・第2回学校運営協議会では、生徒・保護者を対象とした学校評価アンケートの結果を基に学校運営の中間報告を行うことを確認した。
- ・今後も学校が抱える課題を地域と共有し、学校運営協議会委員の視点から助言を得ながら、地域とともにある学校づくりを推進していく。